



原点 に立って、 未来 へステップ

■今月の強調目標 ユース

2015-2016 年度
東日本区理事通信
第 3 号
2015年9月7日発行

理事メッセージ 東日本区理事 渡辺 隆

8 月の酷暑がどこに行ったのか、季節通りの日常が崩れると、自然の中で生かされている我々に思わぬ負担が課せられることがあります。しかし、ワイズ活動は会員の皆様のご努力で確実に今年度の事業が遂行されています。

8月29日の北海道部部会・札幌クラブ60周年記念祝会の開催を皮切りに北東部、湘南・沖縄部、富士山部、関東東部、東新部、あずさ部の各部会が10月までに開催されます。部長のリードのもと、事業主任の方針を受けて部主査から各クラブに個々の活動が伝達・実施されていることと思います。

9月はユース強調月間です。未来に向けて、次世代、次々世代の若者といかに考えを共有できるか、待っているのではなく、若者の中に飛び込み、心を通わせ、若者にも分かり易いワイズメンを目指し、未来にステップとの方針を掲げさせていただきました。

9月11日～13日にはユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)が東京YMCA山中湖センターで開

催されます。

浅羽ユース事業主任の主題は「もっと若者に歩み寄りようぜ」です。

ワイズの信条に「青少年のためにYMCAにつくそう」があります。若者と接することで、ワイズ-YMCA-ユースで我々のクラブの地元地域奉仕活動のヒントが得られるかもしれません。ぜひ、このフォーラムに参加され、若者との窓口を作りましょう。

8月からSTEP事業として東西日本区でお迎えしましたロシアのマトベイ君は、ホストファミリーの吉田紘子メン(東京むかで)、利根川恵子次期理事(川越)のご協力をいただき、無事帰国をしたとお聞きしました。

ユース委員会の皆様、多くのご協力をいただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

また、9月中旬から一ヶ月にわたりBF代表として小山久恵メン(東京サンライズ)がオーストラリアに行かれます。ご無事を祈り、帰国後の報告を楽しみにさせていただきます。

強調目標

9月ユース強調月間に寄せて

ユース事業主任 浅羽俊一郎

ユース

京都で開かれたアジア地域ユースコンゴケーション(7月29日～8月2日)に集った若者48名は「平和」を自分たちの課題として持ち帰りました。これからアクション・プランを行動に移していく、とのことです。重いテーマですが、決して彼らだけのことでなく、今や私たちワイズメンへの問いかけです。

さて、9月はユース強調月間。YMCAを始めたG. ウィリアムズと仲間が全員ユースだったことを思い出します。最近SEALDsという全国的な学生の運動がマスメディアで取り上げられていますが、社会と向き合い、自分たちで自分たちの未来を切り開こうとしている若者と出会い、話しが通じると、それだけで嬉しくなります。それくらい若者と接する機会は待っていても来ません。

実は今、YMCAもY'sもユース(高校生から30才前後の社会人)との接点が少ないのが実情です。というのも今や事業に関わらないユースには居場所がないからです。ワイズのY3のような自主的活動はYMCAにはないようです。

どうしたら自主的な活動をYMCAでやってみたい、というユースをYMCAの外に見いだせるか、担当主事とともに考えてもらいたいです。まずは地元で若者たちが何をしているか、関心を向けて下さい。また、ユースと既に関わっているクラブはワイズドットコム愛読者たちに広くその活動を紹介して下さい。

* 区ユース事業の今までの経緯を知りたいという方、是非吉田明弘メン(東京西クラブ:元ヒストリアン)の書かれた「Historian's View」No.27をご覧ください。(東日本区ウェブサイトのリンクのページからアクセス出来ます。但し、これが書かれたのは2011年2月だったので「オープンフォーラムY」の記載はありません。)

[報告]

・先月初めからSTEPで来日していたマトヴェイ君(モスクワクラブ・コメント)、前半は松原メン(名古屋グランパス)、後半は利根川メン(川越)と吉田メン(東京むかで)がホストを務められました。感謝します。(別記事参照)

・ユースボランティアリーダーズフォーラム(YVLF)が今月11日～13日まで東京YMCA山中湖センターで開催されます。



北海道部会 札幌クラブ60周年記念祝会

8月29日(土)札幌市のホテルオークラ札幌にて、北海道部(伏木康部長)の部会と、それに併せ札幌クラブ(宮崎善昭会長)の60周年記念祝会が開催されました。

「ワイズの未来 ある? ない?」と題した、藤井寛敏元国際会長の講演や、東日本区の事業主任のアピールなどがありました。出席者は50人、このうち、IBC台中クラブや先の京都アジア大会で札幌クラブとDBCを結んだばかりの京都パレスクラブからも大勢の参加がありました。



北東部部会

9月5日(土)、仙台市のTKPガーデンシティ仙台勾当台店において、北東部(中川典幸部長)の部会が開催されました。

「クラブの結集軸は何か?」と題したディスカッションが活発に展開された他、NPO法人シャロームの会代表の菊地茂氏による「心の障がい者への就労支援」と題した記念講演がありました。

懇親会では、珍しいベネズエラハーブの演奏を楽しみました。参加者は62人、(仮)石巻広域クラブのメンバーもお二人参加されました。



地域奉仕 地域奉仕事業委員会より 「CS写真コンテスト」のお知らせ 地域奉仕事業主任 相川 達男

日頃より地域奉仕事業にご奉仕いただき感謝いたします。

さて、今期地域奉仕事業の一環として新たに「CS写真コンテスト」を開催することとなりました。各クラブ、メンバーの皆さんが日頃より力を注がれている地域奉仕、YMCAサービスなどの活動の写真を応募いただき、クラブ会長の投票などから大賞を決定し発表します。各クラブ数枚をエントリーしていただきWEB上に公開します。

この写真コンテストは、各クラブのCS活動を、写真コンテストを通じてアピールしていただき、全ワイズメンバーに知ってもらうこと、クラブ内での活動の盛り上がり役に役立てていただくこと、さらに今年度の活動方針のひとつでもあります。「1クラブ+1事業」の開発のヒントを目的としています。よって応募していただく作品には写真の内容を補足するコメントをお願いします。また、単に活動内容を伝える写真ではなく芸術面やアイデア面なども評価の対象にさせていただきますので、カメラに自信のある方やスマホなどで思いもかけず良いショットが撮れた方などふるってご参加ください。

応募方法など詳細は、改めてクラブ会長様宛発信いたします。皆様のご参加よろしくお願いたします。



東日本大震災支援対策本部から

仙台で意見交換会開催
支援対策本部長 渡辺 隆

9月5日(土)の北東部部会前、午前10時から仙台YMCAにおいて、部会に参加する東日本区・東日本大震災支援対策本部のメンバーと、中川典幸北東部部長、村井伸夫仙台YMCA総主事、それにオブザーバーとして横倉純北東部書記(仙台)、清水弘一メン(仙台青葉城)で、支援対策活動について意見交換会を持ちました。仙台3クラブ、もりおかクラブ、仙台YMCAから、活動報告と今後の活動計画、課題等の報告をお聞

きし、今後の活動の在り方について情報交換しました。前日(9月4日)、涌澤博メン(仙台青葉城)のご案内で、

荒浜地区や閑上地区の現況を視察しましたが、東日本区として今後どのような支援をすべきか、地元の皆様と相談しながら進めて行く必要があるのではないかと考えます。



荒涼とした風景が続く仙台市・荒浜地区

国際交流

BF 代表の募集開始

国際・交流事業主任 柳澤 岳

2016-2017年度のBF代表の募集要項が届きました。概要をご紹介します。BF(Brotherhood Fund)は、BF代表や国際役員が公式の旅行をするために積み立てられる基金で、ある地域から他の地域を公式訪問するワイズをBF代表と言います。旅費の全額が支給され、3～5週間派遣されるフルグラントと、国際大会あるいは地域大会への参加費用の一部が補助されるパーシャルグラントの2種類があります。詳細は別途ご案内しますが、応募は11月1日までに理事へ所定の用紙を提出して下さい。詳細は、国際・交流事業主任にお問い合わせ下さい。ご応募をお待ちしています。

ユース

STEP 留学生

Matvei 君

を受け入れて

吉田 紘子(東京むかで)

利根川 恵子 (川 越)

8月22日午後7時過ぎ、新幹線品川駅でのできごとです。その日、第一ホストの名古屋グランパスクラブ・松原行謙ワイズの手配で、名古屋から新幹線に乗り、東京駅のホームでホストと会う予定でした。ところが乗っているはずの新幹線が到着しても、Matvei君の姿はなく、それから2時間、エカテリンブルグの母親経由で届く情報を頼りにMatvei君を捜し、やっと品川駅のホームで会うという、波乱含みの受け入れスタートとなりました。

Matvei Denisov君は、ご両親がロシア・エカテリンブルグ・ワイズメンズクラブのメンバーで、本人もユース・クラブのメンバーとして活動しています。年齢は15歳、日本と言えば中学3年生の歳です。

東日本区での2週間のホームステイ中、公式的な行事としては、日本YMCA同盟・島田茂総主事表敬訪問、東京クラブおよび埼玉クラブの8月例会に出席し、エカテリンブルグのワイズメンズクラブ、ユース・クラブの活動紹介、東京YMCAフェスティバル参加などがありました。また、見学としては、みらい館、MEGAWEB、TEPIA先端技術館、ジブリ美術館、鉄道博物館、浅草、東京スカイツリー、ディズニー・シーなどに行きました。東京クラブの例会では、富士山5合目のネイチャー・プログラムにも参加しました。



事前の連絡では、日本の伝統文化、祭り、歌舞伎、皇居などに興味があるとのことでしたが、実際に本人に会って話してみると、車、オートバイ、コンピューターが

●フルグラント

プログラム番号	派遣内容	受入れ地域
BF 16/17-02	期間 2017年5月 目的 クラブ訪問 到着地 フレデリクトン 出発地 フレデリクトン	カナダ / カリビアン地域
BF 16/17-03	期間 2017年1月10日 ～2月2日 目的 クラブ訪問 到着地 ハイデラバード 出発地 ハイデラバード	インド

●パーシャルグラント

2016年国際大会(台北)へアジアエリアから3名募集、650フランが支給されます。

大好きで、それ以外にはあまり興味を示しませんでした。MEGAWEBでのレーシング・カーのシミュレーター、ゴーカート、みらい館・TEPIAでの様々なハンズ・オンの展示には、目を輝かせて挑戦していました。ディズニー・シーの乗り物も然りです。

15歳という年齢は、子どもから大人に変わる成長期であるので、体格やレディ・ファーストに徹して行動をするときなどは、日本の中学生に比べて大人だなと思わせるのですが、チョコレートをやたらねだったり、夢中になって夜遅くまでゲームをやっていたり、とまだまだ子どもの面も持ち合わせていました。

STEP(ユース海外短期交流プログラム)の応募資格である15歳以上になったばかりでやってきたMatvei君。英語の力もそれほど高くないので、時々意思の疎通が困難なこともありました。また何よりも、日本のユースと継続的に接することが無く、ホスト・ファミリーが手配した同年代の子どもやユースはいたのですが、その日限りのお付き合いで終わってしまったのが、とても気の毒でした。時と場所があればすぐに居眠りをするという行動も、言葉も通じない、思いつき行動ができないという、ストレスからの逃避だったのではと改めて思います。

しかし、私たちはこの事業の素晴らしい成果を信じます。語学力、学習レディネスなどMatvei君は合格ギリギリの線でしたが、今回、われわれが蒔いたタネはきっと将来Matvei君の中で成長し、大きく花開くことでしょう。これぞワイズの未来への投資です。

波乱含みからスタートしたホームステイも9月2日で終わりました。それぞれ1週間ずつでしたが、Matvei君をお預かりし、孫ができた気分にもなれ、楽しかったです。

9月3日、母親からのメールで、無事に帰国したニュースがもたらされました。Matvei君、来年、IYCに参加して、台湾の国際大会でお会いしましょう。

部 ing

富士山部の初例会とクラブ訪問

伊東クラブ会長 榎本 博

皆さんも交流や親睦を図るため、メーキャップにと、他クラブ訪問をされていると思いますが、伊東クラブでは毎例会ごとにドライバー委員会が、クラブ名・日程・会場・登録料を記した用紙を回覧し、各自訪問したいクラブに氏名を記入します。ドライバー委員会がそれをまとめ、氏名・役職・誕生日・結婚記念日を記し登録してくれます。

伊東クラブ発行のガイドンス(会員名簿)には各月に「他クラブ訪問」をする委員会名も記入されており、各委員長はこれを見て委員を誘い、他クラブの例会風景や事業・活動などを知る機会を作ります。入会まもないメンバーには率先して登録をするよう促します。この場合は委員長やドライバー委員会などが同行します。1年間を通じ下田クラブ(子クラブ)に毎月訪問しているメンバーも3名おりますし、熱海クラブ(親クラブ)からも同様に来てくださるメンバーもあるのです。

このようにメーキャップなど関係なくビジターとして行

き来が盛んな富士山部であるが故、初例会(7月例会)ともなると各クラブ会長はもとより、役員を中心に部内全クラブを行脚し、例会プログラムに必ずある「各クラブ会長挨拶」で新年度を迎えた会長、クラブにお祝いを述べたり、会長主題や自クラブの方針・目標など会長としてその年度を率いる為のアピールをも含め短い時間ですが貴重な場を与えて頂けるのです。聞いている側も各クラブ会長の人柄や自クラブとの違いなど見えて本当に楽しく有意義な例会であるのです。

このように交流が盛んな富士山部は部役員を中心に結束も固く、7月と1月の部長公式訪問でさらに盛り上がるのです。部をも越える交流を外向役員以外のメンバー間において実現できればワイズメンズクラブの新たな楽しみが増えると考えます。ぜひ一度富士山部を経験して欲しく思います。



写真:熱海クラブと伊東クラブのガイドンス。ロースターのクラブ版です。

PR

理事はトップセールスマン

仙台市長を表敬訪問

9月4日(北東部部会の前日)、奥山恵美子・仙台市長を表敬訪問しました。菅野健・仙台YMCA理事長、村井伸夫・仙台YMCA総主事、中川典幸・北東部部長とともに、東日本大震災支援活動や、仙台YMCAの事業、RBM(ロールバックマラリア)の取り組み等をPRしました。

(東日本区理事・渡辺 隆)



会員増強

8月の新入会者

小林 美彦さん(長野)—この春息子の太地君が山手学舎に入寮し、これがきっかけでワイズメンに。音楽やよろず楽しいことのプロデュースが仕事。大病で、体はいささか不自由になりましたがアイディアと豊富な交友関係を活かして妻の晶子さんと二人三脚の頼もしい仕事振りです。(長野:森本俊子)

お慶び

国際・交流事業主任の柳澤岳さん(松本)が9月5日(土)、結婚式を挙げられました。おめでとうございます。

おくやみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。永年に亘るワイズダムへのご奉仕に感謝申し上げます。

- 糸賀 元房 様(下田) 8月5日ご逝去 享年66
- 中島 竹男 様(甲府21) 8月9日ご逝去 享年67
- 山口 愛二 様(東京目黒) 8月15日ご逝去 享年90

●9月の予定

- 9月11日～13日 ユースボランティア・リーダーズフォーラム(東京Y山中湖センター)
- 9月14日～10月16日 小山久恵さん(東京サンライズ)BFフルグラントでオーストラリアへ
- 9月19日(土) 東京ベイサイドクラブ例会-4人の入会式
- 9月26日(土) 湘南・沖縄部部会(ワークピア横浜)日本YMCA同盟・東山荘新館起工式
- 9月27日(日) 富士山部部会(道の駅伊東マリンタウン)

お知らせ

●東日本区事務所より

9月14日から10月16日までの間、東日本区事務所は、小山憲彦さんに代わり、久保田貞視さん(東京八王子)、宮内友弥さん(東京武蔵野多摩)、田中博之さん(東京)、それに理事事務局(渡辺・仙洞田・二子石)が交替で勤務します。勤務日(月・水・金)、時間(午後1時～6時)に変わりありません。(東日本区事務所長・渡辺隆)